

すべての生徒に、安心して学校生活を送ってもらうための取組 2024/5/21

多様な学びの場を設けます

○オンラインによる学習

→リモートによる授業参加、教材の送受信などを、ご自宅のwi-fi環境やご希望に応じて行います。

○校内教育支援センター(にじいろ教室)での学習

→様々な理由で自教室での学習や集団行動に不安や困難を感じている場合、ご希望に応じて、個別に支援します。

★にじいろ教室1

保健室の隣の談話室で、次のステップ(集団での学習、進学など)に向けて、時間割に沿って学習します。オンラインで自教室の授業にも参加できます。

★にじいろ教室2

北校舎1階の会議室で、自分のペースで学習を進めます。学習の方法や内容は、ご家族やスタッフと相談しながら、自分で決めます。

☆地域住民や保護者、上越教育大学の大学院生からボランティアでご協力いただき、学習支援や、豊かな体験活動をさせていただいています。

○校外の多様な学びの場の紹介

→校外にも、市や民間が運営している様々な学びの場があります。登校と同じ扱いにできる所も多くあります。ご希望に応じて、紹介いたします。

学校を「共生社会を学ぶ場」にしていきます

○生徒の、学校活動への主体的参画

→生徒会が「よりよい学校づくり」のために年間を通して行っている「アンケートを基にした『城西ライフアンケート』」は、新潟県が全国に先駆けて2000年度に作成した「いじめ防止学習プログラム」(PEACEメソッド)に基づいた活動で、城西中の財産と言ってよい、生徒主体の活動です。
→生徒会行事なども、生徒自身が「共生」の理念に基づき、主体的に参画できるよう配慮しています。

○「学校のアメニティ向上委員会」

→特設で、生徒と職員によるこの委員会を設置し、校則や制服の見直しを含めた、学校のアメニティ向上に取り組んでいます。

★校内教育相談部会、校内支援員会、随時の相談会、専門家との連携
各学年の教育相談担当教員、養護教諭、管理職、スクールカウンセラー等が参加して、困り感をもつ生徒や相談を受けている生徒への支援策を協議しています。この会議を受け、生徒や保護者との相談会の実施や、校外の専門家からの指導助言を受ける会などを行います。上記の他にも、様々な機関の専門家と連携して、チーム支援を行っています。

当校のグランドデザインの柱

「共生社会」の礎を 生徒と教師が共に創っていく学校



寄り添う

生徒一人一人の教育的課題や 思いに寄り添う支援の充実

○チーム担任制

→複数の教員が担任を務めることで、生徒の多面的理解を推進し、チーム支援に努めます。

心のSOSを見逃さず 「チーム学校」で支援します

○多様なアンケートの実施

→生徒が「いつでも悩みを聞いてもらえる」という安心感をもって学校生活を送れるよう、また、生徒のSOSを少しでも早く受け止められるよう、様々なアンケートを行っています。アンケートには即日、複数職員で確認し、対応や相談につなげています。

★教育相談前のアンケート

定期教育相談の前に、悩み事などを書いてもらうものです。(年3回)

★仲間とのかかわりに関するアンケート(年2回)

★いじめアンケート

上越市のいじめ防止基本方針に基づき、匿名で行います。(年1回)

★体罰や不適切指導に関するアンケート

新潟県により、全県の学校で毎年行われます。当校独自でも実施しています。ハラスメントの相談電話も設置しています。

★「城西タイム」における「週の振り返り」

当校が独自に行っているもので、その時期に即した振り返りや、困っていることや不安、悩み、心配などについて書いてもらうものです。(毎週)

○多様な相談窓口の設置、専門家との連携

→校内外の、様々な専門性をもつ者が相談やチーム支援を行えるよう努めています。いつでもご相談ください。

★心理の専門家

スクールカウンセラーが、ご希望に応じて、生徒や保護者の皆さんのカウンセリングを行います。

★健康や食の専門家

養護教諭や栄養教諭が皆さんの相談を受け、助言したり専門家を紹介したりします。

★福祉や家庭支援の専門家

市教育委員会や県配置のスクールソーシャルワーカーが相談を受け、助言したり、支援してくれる機関を紹介したりします。

★発達や障がいの専門家

養護教諭や特別支援教育担当教諭が相談を受け、助言したり専門家を紹介したりします。

★災害や事件、事故に遭遇した際の緊急支援

校外の専門家の緊急派遣などにより、心のケアをはじめとする緊急支援にあたります。大変な状況の時などは遠慮なくご相談ください。